

令和3年度蓮田市一般会計 補正予算(第3号)など

11議案を承認・可決・同意



議長就任あいさつ

令和3年6月定例会は、去る6月4日から6月28日までの25日間の会期で開かれました。

今定例会では、初日に正副議長の選挙を行い、各常任委員会委員、議会運営委員会委員などの選出を行いました。また、市長提出議案として「蓮田市こども医療費助成条例及び蓮田市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例」など8議案が上程され、いずれも承認・可決しました。

最終日には、市長追加提出議案として「蓮田市監査委員の選任について」、「蓮田市手数料条例等の一部を改正する条例」、「令和3年度蓮田市一般会計補正予算(第4号)」の3議案が上程され、いずれも同意・可決しました。

なお、今定例会に提出された「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書を提出することに関する請願」及び「エネルギー基本計画改定に伴い再生可能エネルギー電力の割合を高めるよう国への意見書提出を求める請願」は趣旨採択となりました。

市長提出議案

議案第35号 専決処分の承認を求めることについて

蓮田市税条例等の一部を改正

地方税法等の一部改正に伴い、蓮田市税条例等の一部を改正する必要が生じ、専決処分したものです。

改正の主な内容は、個人市民税の税務書類について、給与支払者や公的年金支払者が電子データで提出する方法の見直し、固定資産税について、市が定める課税標準の特例措置である「わがまち特例」の見直し、その他、引用法令の項ずれに伴い、規定を整備するものです。

議案第36号 専決処分の承認を求めることについて

蓮田市都市計画条例の一部を改正

地方税法等の一部改正に伴い、蓮田市都市計画条例の一部を改正する必要が生じ、専決処分したものです。

改正の主な内容は、引用法令の項ずれに伴い、規定を整備するものです。

議案第37号 専決処分の承認を求めることについて

令和3年度蓮田市

一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、国の事業による「子育て世帯生活支援特別給付金事業」を行うため、関係予算を専決処分したものです。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3210万円を増額し、歳入歳出予算の総

議長

齋藤 昌司



副議長

高橋健一郎



市民と共に歩む

市議会を目指して

市民の皆様におかれましては、日ごろから蓮田市議会に対し、ご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

6月定例会初日（6月4日）、議員各位の推挙により、齋藤昌司・高橋健一郎が議長・副議長に就任いたしました。職責の重さに身に余る思いでございます。

未曾有のコロナ禍の中、市民の安全と安心を担保するため、最善の対策を蓮田市と市議会が協力して取り組んでおります。また、蓮田市を取り巻く環境は、日々変化しており、社会福祉問題・生活環境問題・教育問題等、蓮田市政発展のため鋭意努力してまいる所存であります。

市民の皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸をお祈り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

正副議長選挙の結果

今定例会の初日に、中野政廣議長と鈴木貴美子副議長の辞任に伴い、正副議長の選挙が行われました。投票の結果、第32代議長に齋藤昌司議員が、第33代副議長に高橋健一郎議員が選出されました。

選挙結果は、次のとおりです。

●議長選挙

齋藤 昌司議員（はすだ政和会） 15票
栗原 勇議員（日本共産党） 5票
選挙の出席議員20名、投票総数20票。投票総数のうち有効投票は20票でした。

●副議長選挙

高橋健一郎議員（公明党） 15票
船橋由貴子議員（日本共産党） 5票
選挙の出席議員20名、投票総数20票。投票総数のうち有効投票は20票でした。

額を183億1353万6000円とするものです。

議案第38号 蓮田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う改正

内閣府令で定める特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を定めるものです。

議案第39号 蓮田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う改正

主な内容は、家庭的保育事業者等による諸記録の作成、保存等について、電磁的な記録を行うことができることを加えることや、国の基準の一部改正に伴い、規定を整備するものです。

議案第40号 蓮田市子ども医療費助成条例及び蓮田市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例

医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部改正に伴う改正

改正の内容は、医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の

一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

反対討論 マイナンバーカード 利用拡大に反対

制度改正の内容は、資格確認の方法を改めるもので、改正前は「受給資格者は、医療を受けようとする場合は、被保険者証、組合員証又は加入者証及び受給資格者証を提示しなければならない」とあったものにマイナンバーカードを加えるというものである。

カードの利用をさまざまな分野に拡大すれば、所得や資産、医療や教育などの膨大なデータが政府に集中し、国家による個人情報管理が進むことにつながる。日本共産党はカード利用の拡大に反対する。

議案第41号 令和3年度蓮田市一般会計補正予算（第3号）

新型コロナウイルスワクチン接種事業の経費等を計上

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億5026万4000円を増額し、歳入歳出予算の総額を186億6380万円とするものです。

主なものとして、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組みながら事業を営む中小企業者等を支援するための経費や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての公園のトイレ等を改修するための経費を計上。さらに、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を利用した子育て世帯生活支援特別給付金事業の経

費を計上。

また、防災・安全交付金を利用した黒浜緑地整備のための経費などを計上。

反対討論 利用抑制を招く負担限度額引き上げに反対

議案第41号の介護保険特別会計繰出金は、議案第42号の電算処理業務委託費のシステム改修に充てるものである。

改修内容は、介護施設利用者の食費分負担限度額を上げること。また、高額介護サービスの上限度額を上げることである。改正の主旨は、負担の公平性とのことだが、利用料の負担限度額引き上げは利用の抑制を招き、かえって重症化になりかねない。よって日本共産党は反対する。

賛成討論

対策不十分な予算で、追加対策を求める

民生文教委員会や一般質問でも指摘したが、5月31日現在のワクチン接種率は国が約20%に対して蓮田市は約12%で、大きく遅れている。64歳以下のクーポン券発送についても、委員会では時期を明言できず、その約10日後には発送するという見通しのなさでは、きちんと事業執行できるか大変疑問である。また、本予算では商品券やポイント還元などがなく事業者支援も不十分である。しかし、予算を否決して、事業を止めるわけにはいかなるので不十分だが賛成せざるを得ない。



議案第42号 令和3年度蓮田市介護保険特別会計補正予算(第1号)

介護報酬改定等に伴う電算システム改修経費を計上

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ495万円を増額し、歳入歳出予算の総額を55億8438万6000円とするものです。

主な内容は、介護報酬改定等に伴い、電算システムを改修する必要があるため、介護保険業務経費を増額するものです。

議案第44号 蓮田市手数料条例等の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う改正

蓮田市手数料条例の一部改正については、引用法令の一部改正に伴い、個人番号カードの再交付手数料が地方公共団体情報システム機構からの受託による徴収方法に変わることから、当該事務に係る規定を削るものです。

また、蓮田市個人情報保護条例の一部改正及び蓮田市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正については、引用法令の一部改正に伴い、規定の整備を行うものです。

反対討論

個人の権利利益を侵す恐れのある改定には反対

これは、市民の個人情報訂正時の提出先を、総務大臣から内閣総理大臣に変更する改定。デジタル化の名目で、個人情報

報を全て総理大臣に集中させる国家的な仕組みであり、この国を超中央集権国家に大きく様変わりさせる危険な改定である。

また、個人データを匿名化して民間事業へ提供する制度に基づくため、個人の権利利益を保護することをうたった、市の個人情報保護条例の目的に真つ向から反するものである。

よって日本共産党は反対する。

議案第45号 令和3年度蓮田市一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金に係る経費を計上

本議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2460万円を増額し、歳入歳出予算の総額を186億8840万円とするものです。

歳入の国庫支出金を受けて、歳出では、緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯で、一定の要件を満たす生活困窮世帯に対し、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給する事業に係る経費を計上。

賛成討論

困窮者支援の制度をもっと周知し、市民に寄り添った対策を

本予算の中核となる生活困窮者自立支援金については、総合支援資金の再貸付を利用したことが、その支給要件となっているが、貸付の窓口となっている社会福祉協議会のホームページが、私が指摘するまで更新されなかったなど、制度の周

市長の行政報告

今定例会における市長からの行政報告は18件で、次のとおりです。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 東京2020パラリンピック聖火リレーについて
- 3 東日本大震災関連の取り組み状況について
- 4 令和2年度情報公開・個人情報保護制度の運用状況について
- 5 令和2年度末の休日における市役所窓口の一部開庁の結果について
- 6 交通安全対策について
- 7 山ノ神沼の私有地部分の用地取得について
- 8 蓮田スマートインターチェンジ(フル化)の進捗状況について
- 9 蓮田駅西口再開発事業の完了について
- 10 蓮田駅西口行政センターの開設について
- 11 令和2年度蓮田市定例監査兼行政監査結果の報告について
- 12 蓮田市の未来を語る子ども議会について
- 13 子育てサポートコーナー プレックス・キッズの開設について
- 14 保育園及び認定こども園の整備について
- 15 民法改正後の成人式の実施について
- 16 国指定史跡黒浜貝塚第7期整備工事について
- 17 子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰について
- 18 各部の主な事業の進捗状況について

知について不十分だ。これでは、制度を知らず利用していない対象市民いると思われ。私の質疑に対して、市長から今後は市民に寄り添う姿勢を心掛けたいという趣旨の答弁があったので、そのような市政を期待して賛成する。

請

願

今定例会に提出された請願は2件で、所管の委員会に付託し、審査を行いました。

請願第1号 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書を提出することに関する請願

蓮田市東5-8-17-506

はすだ9条の会 代表 山口 隆

蓮田市桜台3-7-10

埼玉土建一般労働組合岩槻蓮田支部

支部長 中山 弘明

蓮田市関山2-8-31

新日本婦人の会蓮田支部

支部長 鈴木 三代子

蓮田市桜台2-14-10

全日本年金者組合蓮田支部

支部長 鈴木 益邦

蓮田市関山2-2-26

日本国民救援会埼玉県本部蓮田支部

代表者 大野 興一

蓮田市馬込3-1-109

医療生協さいたま・蓮田支部

支部長 高岩 増子

蓮田市黒浜4-1-47

全日本国立医療労働組合東埼玉病院支部
支部長 鈴木 亜奈奈

要旨
核兵器に関するあらゆる活動を禁止する核兵器禁止条約の採択・発効により、核兵器は歴史上初めて国際法的にも道義的にも許されないものとなった。当条約は、被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記され、国民の切望である核兵器完全廃絶につながる画期的な条約である。米国の「核の傘」に安全保障を委ねている日本政府は、当条約に背を向け続けている。態度を改め、条約に署名・批准することは、唯一の戦争被爆国として核兵器全面禁止に向け真剣に努力する証となる。蓮田市議会として意見書を日本政府に提出することを強く求める。

審査 総務委員会付託

紹介議員より趣旨説明を受け、審査を行った。委員より「核保有国や核の傘に守られている国々がこの条約に参加していないと言われているが、どう考えるか」との紹介議員への質疑に対し、「核抑止による平和維持は、相互不信と恐怖が両国間に横たわり、互いの国民などを人質として脅迫し合った中で保たれるもので、本来の平和とは大きく逸脱しています」との説明があった。採決の際、委員から趣旨採択を求める動議が提出され、これを採決した結果、賛成多数をもって趣旨採択とすべきものと決した。

賛成討論
意見書提出できない趣旨採択に反対し、請願採択を求める

趣旨採択の理由は「国が条約に署名・批准しない立場だから」だが、逆であ

る。多くの国民は核兵器廃絶を願っており、国が国民の声を聞くべきである。核に依存しない安全保障政策を確立すべき。
日本共産党は、平和都市宣言をしている蓮田市の議会として、国への意見書提出を求める。

請願第2号 エネルギー基本計画改定に伴い再生可能エネルギー電力の割合を高めるよう国への意見書提出を求める請願

蓮田市綾瀬15-12 小林 洋子

ほか 5名

記名押印5名

要旨

2030年第6次エネルギー基本計画の改定にあたり、再生可能エネルギーの電力目標を高め、主力電力化の実現にむけ、意見書を蓮田市議会から国会に提出することを請願します。

審査 建設経済委員会付託

紹介議員より趣旨説明を受け、審査を行った。委員より「電力の消費者は、再生可能エネルギー発電促進賦課金を負担しているが、2030年までに再生可能エネルギーの比率を60%にした時の賦課金はどうか」との紹介議員への質疑に対し、「賦課金については、今後の政策によって決まってくるため、ここではつきりしたことはお答えできませんが、上がる可能性はあると思います」との説明があった。採決の際、委員から趣旨採択を求める動議が出され、これを採決した結果、賛成多数をもって趣旨採択とすべきものと決した。

趣旨採択

賛成討論
今こそ国へ、再生可能エネルギー電力の割合を高める意見書提出をすべき

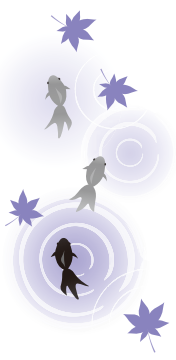
国が再生可能エネルギーへの高い目標を掲げるからこそ、コスト削減や発電効率上昇への研究が急ピッチで進む。

日本の今の目標値は、世界主要国と比べるとあまりにも低いものである。請願に掲げる目標は、既に実践もあり、決して非現実的ではない。近年の自然災害は私たちの身に差し迫り、このままでは気候変動への対応に間に合わない。今こそ国へ意見書を出すべきである。

趣旨採択では意見書が提出できない。日本共産党は趣旨採択に反対し、請願の採択を求める。

賛成討論
3つの観点から賛成する

① 人類生存の観点、即ちCO2削減は全人類共通の課題で議論の余地がない。
② 国益の観点、即ち再生可能エネルギー活用は資源のない日本にとっては生命線であり、これをせず枯渇性エネルギーを輸入しCO2を発生させることは合理性に欠ける。
③ 地方自立の観点、即ち政府方針は地方政府へ上意下達で流れるが、これを逆潮流としガバナンスや政策の歪みを是正すること、及び地方の自立の観点から。



常任委員会など議会構成決まる

(◎は委員長、○は副委員長)



民生文教委員会(定数7人)

後列左より 菊池 義人 齋藤 昌司
北角 嘉幸 近藤 純枝
前列左より 湯谷百合子 ◎栗原 勇
○山田 孝夫

健康福祉部、教育委員会(学校教育部・生涯学習部)が所管する議案・請願などの審査や調査を行います。



総務委員会(定数6人)

後列左より 高橋健一郎 木佐木照男
中野 政廣
前列左より 榎本 菜保 ◎勝浦 敦
○山田慎太郎

総合政策部、総務部、会計室、蓮田駅西口行政センター、議会事務局、行政委員会、消防本部が所管する議案・請願などの審査や調査を行います。



議会運営委員会(定数7人)

後列左より 森 伊久磨 榎本 菜保
福田 聖次 山田 孝夫
前列左より 中野 政廣 ◎木佐木照男
○関根 香織

議会運営を適正・円滑に行うために、会期の決定や議事日程などを協議します。



建設経済委員会(定数7人)

後列左より 船橋由貴子 福田 聖次
関根 香織 森 伊久磨
前列左より 石川 誠司 ◎鈴木貴美子
○秦 邦雄

環境経済部、農業委員会、都市整備部、上下水道部が所管する議案・請願などの審査や調査を行います。

一部事務組合

蓮田白岡衛生組合議会議員(定数6人) 湯谷百合子、山田孝夫、山田慎太郎、秦邦雄、石川誠司、栗原勇
埼葛斎場組合議会議員(定数3人) 鈴木貴美子、近藤純枝、木佐木照男



議会選出の監査委員に中野政廣氏を選任

議案
第43号

市監査委員2名のうち、議会選出の監査委員・勝浦敦氏の退職に伴い、後任として中野政廣氏を選任することについて同意を求められたものです。

なかの まさひろ
中野 政廣氏/71歳

正副議長退任にあたって



前副議長
鈴木貴美子



前議長
中野政廣

更なる飛躍を 蓮田市議会

去る6月4日の議会をもって、正副議長を辞することになりました。
一昨年6月に就任して以来2年間、議長、副議長の重責を務めることができましたのも、ひとえに議員各位の皆様、中野市長をはじめ執行部の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。また、何よりも、市民の皆様の温かいご指導、ご協力に深く感謝申し上げます。議会としては、就任早々、埼玉県第4区市議会議長会の会長として、議会活動に取り組

んでまいりました。また、埼玉県第4区内の各市議会議長間との人間関係も深め、情報交換等ができたことは、私にとっでは大変貴重な経験であったように思います。また、蓮田駅西口再開発ビルが完成し、令和3年3月には西口行政センターのオープニングセレモニーが盛大に行われました。このことがこの先蓮田駅周辺の活性化に繋がっていくものと確信しております。
微力ながら、今後も市民の皆様から信頼される議会を目指してまいりたいと思っております。2年間大変有難う御座いました。

永年勤続議員 2人が表彰



勝浦 敦議員



栗原 勇議員

全国市議会議長会及び埼玉県市議会議長会の各定期総会において、勝浦敦議員及び栗原勇議員が在職10年以上の永年勤続議員として、表彰されました。今定例会最終日の本会議において、表彰状の伝達が行われました。

会派の状況をお知らせします

会派とは、主義主張を同じくする議員が集まりつくられたグループのことです。

現在の各会派及び構成議員は、次のとおりです。

(会派結成届出順 ◎は代表者 他は議席順)

- 公明党（2人）
◎鈴木貴美子、山田孝夫
- 日本共産党（3人）
◎栗原勇、榎本菜保、船橋由貴子
- 市民クラブ（3人）
◎菊池義人、木佐木照男、秦邦雄
- 初心の会（2人）
◎福田聖次、湯谷百合子
- はすだ政和会（5人）
◎石川誠司、近藤純枝、関根香織、山田慎太郎、中野政廣
- 蓮田志士の会（2人）
◎勝浦敦、森伊久磨
- 会派に所属しない議員（3人）
齋藤昌司（議長） 高橋健一郎（副議長）
北角嘉幸（無会派）

なお、正副議長は、自分の所属する党・会派の利益や政策にとらわれない公平な立場にありますので、会派には所属していません。

議会改革特別委員会の中継報告

議会活性化会議における取り組むテーマの検討について

検討及び各項目の進捗状況について主なものを次のとおり中間報告する。

(1) 優先的に検討するもの

① 議会における災害時の議員行動の策定

令和2年9月に、蓮田市議会として、災害発生時の対応等を定めた「蓮田市議会における災害発生時の対応要領」と「対応マニュアル」を策定した。

災害発生時の市議会及び議員の役割や、具体的な行動等を定めている。

② 議員が審議会等の委員になること及び報酬等を受け取ることは是非についての検討

議員が審議会等の委員になることについては、任意であることを確認し、令和2年12月定例会に条例の一部改正案を上程し、原案のとおり可決した。これにより、蓮田市議会の議員が、日額により報酬の額を定められている特別職の職員を兼ねるときの報酬を受け取らないこととした。

(2) その他議会改革の取り組みについて

① 委員会録の公開

各委員会の会議録について、本会議と同様に、ホームページで閲覧できるように公開に向けた準備を進めることとした。

② 政務活動費の検討（ネット公開含む）

政務活動費については、議長へ提出する収支報告書を、令和2年度分からホームページで公開することとした。

③ 議会基本条例の検討

議会基本条例に関する項目については、引き続き、鋭意検討を進めている。